



昨年(2011年)の新渡戸祭。左が同窓会のテント

今年の「新渡戸祭」も、幼稚園(子ども園)・小学校・中学校・高等学校・短期大学生活学科がそろって本町校舎での開催となります。新園舎は、青梅街道から東門(旧「北門」)への路

ようこそ 笑顔あふれる新渡戸祭



題字 元学長・森本静子先生

第 54 号

地に曲がると見えるピンクの建物です。
短期大学臨床検査学科は、今年も中野駅そばの臨検校舎で(桃園寮があった場所)開催です。
日程は10月27日(土)と10月28日(日)です。(幼稚園・小学校は28日(日)のみです。)
今年(2012年)は新渡戸先生の生誕一五〇年にあたり、本学園でも特別展で新渡戸先生の手紙、額や著書などを展示します。
幼稚園(子ども園)舎の前の同窓会室「喫茶室」でカレー・お団子・おしるこなどの販売を予定しています。また、同窓生からの提供された献品のバザーも行います。
ガーデンのテントでもお団子、ロールサンド、シフォンケーキ、手作りのお弁当など販売します。



今年のポスター

皆さんおそろいでおいでください。

皆さま、お友だちをお誘いあわせのうえ、お越しください。同窓会も、各学校も皆さまをお待ち申し上げております。

発行所 〒164-8638
東京都中野区本町6-38-1
新渡戸文化学園同窓会
電話 03-3381-0196
(内線 2232)
FAX 03-3381-7866
dosokai@nitobebunka.ac.jp
発行人・編集人
森本 晴生
印刷所 山藤三陽印刷(株)

新渡戸祭にご協力を

同窓会では、献品のバザー、同窓生による手作り作品の展示販売をいたします。バザーのために、日用品、衣料品、食品などの献品をお願いいたします。10月22日(月)までに同窓会必着で、「献品」展示作品」を明記してお送りください。

また、前日と当日に、販売などのお手伝いをしていただける方を募集しています。
お問合せは同窓会事務局へ。
(月水金の11時～15時)

国内旅行 もみじ狩りへ

今年の国内旅行は、11月9日(金)に決まりました。お誘いあわせてご参加ください。昼食はランチバイキングを楽しむ予定です。

日時 11月9日(金) 新宿発8時半頃
新宿帰着19時頃

会費 一万円(昼食代を含む)

定員 50名(バス一台)

申込方法など詳細は、ホームページをご覧になるか、同窓会事務局(月水金の11時～15時)にお問合せください。

むつみ会

(高・高女)

若々しい同窓生

むつみ会 副幹事長 藤井 潔子
新緑爽やかな季節となった五月十二日に、日比谷公園内のレストラン「松本楼」でむつみ会を開催いたしました。当日はお天気に恵まれ、総勢六十人の華やかな会となりました。

ご出席くださった中原短大
長、近藤副学長、この春高校校
長に就任された佐藤善一先生か
ら学校の様子をご紹介いただき
ました。また同窓会の黒澤副会
長から、同窓会として学園の発
展に寄与したい旨のお話があり
ました。

歴史を感じる松本楼の会場に
は、数々のお料理に加えて話題



佐藤善一校長 (前列左から5人目) を囲んで

のカレーも並び、久々の再会を盛り上げてくれました。

同窓生の近況報告では、定期的に同期会を持ち親睦を深めている学年、六十代に入られてから栄養士免許が役に立って活躍の方、特に高女の方々のお話くださるお姿は皆さん若々しく、学生時代にタイムスリップしたようでした。

時間は瞬く間に過ぎ、「二年後にまたお会いしましょう」のご挨拶を最後に、名残を惜しみつつ、元気で再会を願いながら散会しました。

短大部会は都心で十月に

短大の部 幹事長 長井康子
涼風の吹く頃に都心で秋の香りをと思い、次のとおり開催することに致しました。

日時 十月十四日(日)

受付 四時半 開会 五時

場所 車屋本店 新宿区歌舞伎町二丁目三十七ノ一

電話 03-3232-0131

会費 六千円

申込 9月29日までに

五十嵐佳寿子TEL

携帯 047-1334-2354

長井康子TEL 090-7202-4878

042-369-2743

送金先 郵便貯金通帳

記号 10150

番号 73038091

「東京文化学園同窓会短大部代

表 長井康子
出席取消は10月10日(水)までに。それ以後のご返金は致しかねます。

桃園寮 同期会

母校は故郷そのもの

感謝して

短大60年 萩原 里香(矢野旦)
平成二十四年六月二日、第二カフェテリアを集合に、昭和六十年卒業、桃園寮同期会を開きました。お世話になった中川先生、大島先生、原先生にご出席いただき、開催を知った中原学長先生までも駆け付けてくださいました。

二十七年ぶりの学園は、昔と同じに優しい空気、新渡戸記念館や清潔な手入の行き届いた調理室は特に懐かしく、故郷に帰ったようで、時間が過ぎてまだまだ留まっていたい、そんな気持ちになりました。

同期会の取り掛かりは、全員の住所確認から始まり、沖縄から九州、青森やアメリカまで、手分けしてのメール作戦となりましたが、寮生の結束は固く、たったの二日で九割の方々と連絡が付きましました。そして、連絡が分からない人については、同窓会の資料を頼りに実家を尋ねたりしました。

全員で二十四名、皆元氣。文化で学んだ3日精神を基礎に全国各地で活躍していました。

左から2人おいて、
原先生、中川先生、大島先生

思い出話に近況報告、話は尽きず、ホテルの一室にも集まりあふれる寮室と同じ景色です。恵まれた環境の中で受けた文化の教育は、勉強だけでなく、実習などを通して社会的な知識や立ち居振る舞いに至るまで、きめの細かいものでした。私たちはその教育があつて今があり、学校や寮で過ごした二年間で得た教養や友だちは、皆自身の財産と感謝しております。

更に磨きをかけて満五十歳での再会を誓い合いました。

短大七期生
まだまだ元気に活躍

短大33年 森 孝子

私共短大七期生は、昭和十二年前後に生れ、同三十三年春に母校を卒業してから五十五年余り経ち、越し方を省みる時期を迎えました。

卒業後は、母校で学んだ栄養士の資格を生かし、学校・病院

等の給食関係の仕事の続け、定年後もその経験を買われて、忙しく過している方、又栄養士の資格を持った料理研究家として教えている方もおられます。

長い病院勤務後に、傷害を持った方々が、生活の真の向上を目的として活動しているグループを側面から支援し、研修事業を行っている方もおられます。

在学中から、スポーツ、音楽等課外の活動を、卒業後も続けられ、指導者として現在に至っている方々、趣味を更に研鑽され、書道、茶道、手芸等の分野でも活躍しておられます。

それぞれ、ご自身やご家族の健康問題等をも抱えての活動でございませう。

七十五歳を過ぎた今も、生涯現役を貫いて毎日を過しております。



まだまだ元気な75歳!

一般会計収支(平成23年度)

(単位:円)

収入	会費収入他	7,740,923
	前年度より繰越	910,911
	収入計	8,651,834
支出	諸費用	7,563,396
	次年度へ繰越	1,088,438
	支出計	8,651,834

資産残高(平成24年3月31日)

(単位:円)

一般会計	現金・預金・有価証券	101,041,896
事業部会計	現金・預金	15,983,863
奨学会会計	現金・預金・貸付金	2,163,861
旅行部・文化部会計	現金・預金	6,260,100
会報部会計	現金・預金	204,516
総会会計	現金・預金	709,799

*会計報告をご覧になりたい方は、同窓会事務局に幹事会資料をご請求ください。

平成二十四年度幹事会

四月二十六日(木)、学園第二カフエテリアにて幹事会が開催されました。今年度は隔年に開かれる総会がお休みの年ということもあり、例年より早めの開催でしたが、八十四名の出席幹事を迎えて和やかなひとときを過ごしました。

司会・進行役の中川悦専門部幹事長による開会の言葉に始まり、森本晴生会長の挨拶のあと、各部幹事長から新幹事および交代幹事の紹介がありました。

次に報告および審議事項に移り、医技部会の成沢敏枝副幹事長が議長に選出されました。

平成二十三年度の会務報告は小松副会長から、部会活動については各部幹事長から報告があり、承認されました。

会計報告のうち一般会計は鈴木会計理事から、特別会計は黒澤副会長からそれぞれ報告があり、青木監査からの監査報告のあと、審議の結果、全員一致で承認されました。

続いて平成二十四年度の予定に入り、本部活動は小松副会長、部会活動は各幹事長から、予算については伊藤会計理事からそれぞれ説明があり、審議の結果全員一致で承認しました。

その他に入り、今年度は観劇会等の予定はないが、各世代の同窓生が気軽に参加できる行事

として、日帰りバス旅行の計画を立てていることを旅行担当の五十嵐理事から説明がありました。同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。

年会費納入のお願い

年会費の納入方法には、①年払いと②一括納入の二つの方法があります。一括納入された場合は、その後の年会費納入は不要です。

①年払い 年額一千元

②一括納入 二万円

年会費は同窓会の運営費となります。どうぞこの点をご理解いただき、全会員がお忘れなく年会費をお納めくださいますようお願いいたします。

払込用紙の記入方法

ア 卒業校別の略称に必ず〇印を付けてください。

イ 卒業年月と会員登録番号(宛名ラベルに記載あり)を書いてください。

ウ お名前は楷書で書いてください。

エ 郵便局で払込みください。毎年、記入漏れが多く、どんなからの払込みかを調べるのに苦労しております。正確にご記入ください。

*ご不明の点は同窓会事務局(担当・伊藤)へ。

謹んでおくやみ申し上げます。(敬称略)

卒業年	物故者氏名(旧姓)	女S16	榊原イト子(岩田)
専S12	堀川 ミヨ(猪狩)	高S37	窪田しのぶ(豊田)
専S12	鈴木 富久(菅田)	高S37	若林恵美子
専S09	林 志づ(大沢)	高S37	山崎 幸子(小笠原)
専S16	西原ゆり子(小田切)	高S46	尾崎 泰代
専S07	斉藤愛(山口あい子)	高S62	阿部奈緒子(原田)
専S07	佐藤 ふみ(亀井)	高S28	鬼 郁子(坪井)
専S15	大崎 光枝	高S35	勝見 敬子(鳥山)
医S29	長岡 文	高S35	塚田 邦子(驚田)
医S31	斉藤 節子	高S35	中川 節子(柏木)
医S32	小林 洋子(堤)	高S35	樋口真須美(石黒)
医S32	丹後 順子	高S35	最上 祥子(進藤)
攻S37	永山 高子(湯田)	高H07	梶岡奈津江
短S38	藤野美千代	高S30	鶴澤 洋子(関)
短S60	平井 紀子	高S29	成沢 貞子(竹沢)
短S45	福島 純子	高S32	成川 久子(平井)
短S32	山端 道子(川島)	高S28	大和田三子(杉野久子)
女S18	太刀川智子(郡山)	高S39	高橋 清子(宗像)
女S13	高柳 節子(白勢)	高S30	吉田すみ子(中川)
女S22	中村 花枝(小西)	高S47	菅野 裕代(横田)
女S22	大和田歳子	中S27	吉岡三代子(徳丸)
女S14	田中伊佐子(小西)	小S32	森田 政徳
女S14	小林 弘子(牧瀬)	教職員	手嶋 鑒樹[中高]
女S12	坂田 春子(青樹)		

万一、一括納入された方に払込用紙が同封されていた場合は、払込用紙を破棄していただき、手違いをご容赦ください。

名簿作成についてお願い

永年卒業生名簿の整備の準備をしてきましたが、会報の発送、会合の通知などで、連絡先が不

明の方も多く、情報発信ができずに困惑しています。各期の幹事の皆さんはもちろんのこと、同窓生の情報をお持ちの方はどなたでも、是非同窓会本部までご連絡ください。

なお、この名簿は同窓会・学園からの連絡以外には使用いたしません。

小羊会総会

六月三〇日(土)午後二時より、二〇一二年の小羊会総会が小学校ランチルームで開催され、大勢の中学一年の参加を得て、卒業生約五十名、小学校の教職員約二十名がにぎやかに集まりました。

席上、新渡戸文化小学校の新しい校旗が森本光生会長から竹越俊五郎校長に手渡され、喝采を浴びました。(東京文化小学校の古い校旗は、きれいに額装され、後日小羊会から小学校に寄贈されました。)

総会では、永山義夫元校長の音頭で乾杯し、厨房で用意した料理を囲んで歓談が始まりました。小学校の先生の紹介のあと、楽しいクイズ。最後に、豪華景品をもらって幕を閉じました。

昨年は大震災の影響で、十二月十七日に小羊会を開いたのですが、集まりが悪く、準備をした小羊会幹事や小学校の先生たちは残念に思いました。今年は、小学校の校務日程が厳しい中、六月開催ができ、大成功でした。来年も、一学期中に小羊会を開きますので、たくさん集まって下さい。



新しい校旗



10月6日の運動会で贈られる優勝旗の原因

新渡戸稲造先生関連の出版

『新渡戸稲造 (1862-1933)』—我、太平洋の橋とならん—(草原克豪著) が7月に藤原書店から出版されました。草原氏は拓殖大学名誉教授で、新渡戸研究者です。

529ページ、4,410円

『新渡戸稲造に学ぶ With Chaiy for All』(佐藤全弘著) が7月に教文館から出版されました。佐藤氏は大阪私立大学名

誉教授で、本学園創立70周年の時に講演してくださいました。

327ページ、1,890円

『新渡戸稲造75話』続 新渡戸稲造75話(藤井茂著) がセーコー印刷から昨年9月と今年9月に分けて出版されました。藤

井茂氏は、『森本厚吉 新渡戸稲造の愛弟子』を平成14年に盛岡タイムス社から発行したほか、本学園創立70周年に講演してくださいました。2冊で百五十話というのは、もちろん百五十年にちなんでいます。

237ページ、840円

『新渡戸稲造ものがたり』(柴崎由紀著) が9月に銀の鈴社から出版されました。ジュニア・ノンフィクションで、小学校中学年以上が対象の本です。本学園から写真を提供しています。

255ページ、1,575円

リブラ会は来春に

リブラ会幹事長 相賀静子 今年には部会を開く年です。来年の春頃、母校で開催する方向

で検討しております。秋に幹事会を開いて決定いたします。

具体的内容が決まりましたら、リブラ会の皆さまにご連絡するほか、ホームページにも掲載いたしますので、お誘い合わせでご参加ください。

専門部も来春に

専門部幹事長 中川悦 今年の部会は、来春に開催する方向で、場所・日時を検討しています。決まりましたら、ホームページに掲載し、関係の方々にご連絡いたします。

訃報 手嶋鑒樹先生

手嶋鑒樹先生が去る2月2日に心不全で逝去されました。享年九十一歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

手嶋先生は、昭和27年から中高の国語科教諭として奉職され、昭和33年からは高校主事(現・副校長)として、森本静子校長・森本武也校長を助け、中高の繁栄を築かれました。

新渡戸文化
小学校

伝統を守りつつ

新しい変革に挑戦!

校長 竹越俊五郎

学園には幼稚園・小学校は共学で中学校は女子校という矛盾がありますが、26年度から文化中学校を共学にすることになり、それに先立ち高校のカリキュラムを25年度から一新することになりました。

小学校もこの学園の大きな変革に対応して小中の連携を強めて、中学校の専科の先生による専門性の高い授業を今年から高学年対象に取り入れました。

現在は中学校が女子校なので、中学受験をしなくてはならない男子が塾に行き出すと、女子も刺激を受けて塾に行き、中学への内部進学が極端に少ない状態になっています。

中学校の共学化は小学校の希望でもありますので、この大きな変革をとらえて、折角私立の文化小学校に通っているのですから、人格形成に最も大事な小学校の高学年の時期を知育だけの塾に時間を取るのではなく、内部進学を選択して児童にもっと充実した小学校生活が送れる

農園プログラム



児童募集要項

【小学校】

《募集人数》	男女合わせて約60名
《出願締切り》	第1回 11月1日(木) 第2回 11月8日(木)
《試験日》	第1回 11月3日(土・祝) 第2回 11月10日(土)

ようにさせてあげたいし、中学校もこの機会に大きく変革する事を期待しています。

日本の社会は確実に変化してきています。ただ有名大学だけ目指せばいい時代はもう二度と来ません。児童が有名大学ではなく夢のある職業を目指すこと

をご家族も学校もみんなでサポートしてあげたいと願っています。みなさんに内部進学を選んでいただけるような学園にしたいと思います。

新渡戸文化
幼稚園子ども園としての
充実を目指して

園長 清水 憲二

学園キャンパスに戻り、新園舎での生活が一年経ちました。子どもたちの元気な声が朝早くから夕方まで響いています。

幼稚園に長時間の預かり機能を付加した、通称「子ども園」のキャリアマザー支援も浸透してきて、6月の公開保育では多くの方に見学していただきました。木調の明るい園舎も魅力の一つです。

課内活動の充実として、リトミックを年少から年長まで取り入れました。新築されたアフタースクールのホールを利用して、短期大学生活学科の非常勤講師にご指導をお願いしています。リズムに合わせて身体を動かすのは子ども達にとっても楽しい時間です。

短大生活学科の栄養士・保育

ばんだ組のお散歩



士・幼稚園教諭養成の研修の場としても機会が増えてきたり、中高のお姉さん達のキャリア教育にも協力を深めています。

2歳児の長時間保育も新たに子ども園の機能に追加することになり、準備を進めてきました。5月から一部屋を「ばんだ組」として、開園しました。現在は7人の子どもたちが仲良く生活しています。学園の中庭・ガーデンをみんなで散歩するのが毎日の日課です。学園の皆さんから「かわいい!」と言われて、学園で一番小さい子どもたちですが存在感を示しています。

園のホームページでは、日々の保育の様子をご紹介しているほか、最新のご案内もしております。ぜひご覧ください。子育て世代の同窓生の皆様にはぜひ

一度見学にお越しください。お待ちしております。

見学ガイド

公開保育

幼稚園教育時間

10月10日(水)・25日(木)

9:30~11:30

長時間保育時間

10月12日(金)・19日(金)

17:00~18:30

施設公開

9月29日(土) 10:00~11:30

志願票配布

10月15日(月)より

入園説明会

10月20日(土)

10:00開始/14:00開始

園児募集要項

募集人数 3年保育約40名

2年保育約10名

1年保育若干名

出願日 11月1日(木)

3年保育

11月2日(金)

2年・1年保育

11月10日(土)

2歳児保育

入園説明会

11月17日(土)

14:00~15:00

考查日 平成25年1月下旬

募集人数 2歳児保育約10名

*詳細は園のホームページをご覧ください。

新渡戸文化
中学校
高等学校

中学校の共学化

中学校長 上前 善勝

学園の改革の一環として、中学校は平成二十六年度からの中学校共学化に向けて準備を進めています。

以前から新渡戸文化小学校の保護者の方々より中学校を共学にして欲しいという要望も出されてきました。義務教育の一環として、それに応える形で中学校共学化の方向が決定されました。

現在進めている内容として、
(1)小中一貫カリキュラムの作成、学習指導要領の改訂に伴い、小学校高学年から中学校の学習内容が大幅に増えました。学習を効率良くするために小中の学習内容を連結させた一貫カリキュラム作りを各教科が進めています。このことにより、学習ギャップと無駄を減らします。

(2)道徳及び心の教育に関しての連携。小学校はキリスト教を柱とし、中学校は新渡戸精神を柱として道徳教育や心の教育を進めています。これについても小学校高学年から新渡戸精神を徐々に取り入れ連携を図って行きます。

(3)その他にも、施設、規則、部活動、制服など。男子の入学に際して様々な部分で女子校とは意識を変えた対応が必要になります。これらについては今年度から来年度にかけて順次取り組んで行きます。

共学化については森本同窓会長及び黒澤副会長や執行部の方々、役員の方々には暫時ご説明をしております。今後も同窓会会員の皆様方のご理解をいただき、ご支援いただければ心強く思います。

高校コース変更

高校校長 佐藤 善一

高校では今年度まで「一般進学コース」と「特別進学コース」の2コースで進めてきました。しかし、社会では進学後の学習意欲や就職における職業意識が強く求められています。そこで、来年度より本校が今まで

進めてきたキャリア教育を一層明確にした「キャリアデザインコース」と、最近需要が高まっている医療系に特化した「医療系進学コース」の2コースに変更

6月2日のスポーツ大会で



更します。

(1)キャリアデザインコース

職業観を意識した進学を実現するコースです。週1時間の「キャリアデザイン」で将来の人生観・職業観を育て進学を考えます。普通科としての学習以外に「職業」を意識した科目や実技関係の科目が設置されます。

(2)医療系進学コース

薬学、看護、臨床検査、医師などに目標を持って進学するためのコースです。理数系が強化されていて理数系進学希望者にも対応します。医療の意識を高める科目も設置されます。

この他にも18歳成人を見据えた「18プログラム」で社会人としての意識を持つ科目も設置されます。

生徒たちの活躍

今年も本校の生徒は各方面で力を発揮しています。6月中旬には生徒会の呼びかけで保健美化委員、ボランティア委員、有志による通学路の清掃を行いました。



通学路をきれいに

中学剣道部は春夏連続で都大会出場、プラスバンド部は吹奏楽コンクールで金賞受賞、新渡戸稲造博士生誕150年記念作文コンクール中学の部で由井美斗さんが最優秀賞、岡村広美さん・中山礼菜さんが優秀賞に輝きました。今後一人ひとりが個性を生かした活躍をしてくれることでしょう。

《2013年度 入 試 日 程》

【中学校】

2月1日(金) 2科+面接、ベストツ－4科+面接、適性検査型
2月2日(土) 2科+面接、ベストツ－4科+面接
2月3日(日) 2科+面接、ベストツ－4科+面接

【高等学校】

1月22日(火) 一般推薦：作文+面接
プレゼンテーション推薦：プレゼンテーション+面接
1月23日(水) オンリーワン推薦：書類+面接
2月10日(日) ベストツ－入試：3科(国・数・英)

《イ ベ ン ト 日 程》

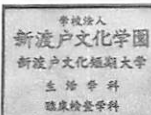
【中学校】

学校説明会 14:00～15:00 11/17(土)
入試体験会 6年生対象(要予約) 12/2(日)、1/7(月)
クリスマスイベント 小学生対象(要予約) 12/15(土)

【高等学校】

学校説明会 14:00～15:00
10/6(土)、11/24(土)、12/1(土)、12/8(土)
新渡戸祭 10/27(土)、28(日) 10:00～15:30
公開授業 11/25(日) 8:40～14:10

【学校見学】月～土(祝日除く) 9:00～17:00 (予約不要)



社会人基礎力・就業力の育成

生活学科

本学科では、卒業時に確かな技術と知識を身につけ社会で活かせる資格取得をめざし、教育の質保証に取り組んでいます。

昨今、大学生の力として必要とされる、コミュニケーション能力、書く力、自主的な計画力、問題解決力の習得につながるプログラムを実施しています。

今年度は入学時オリエンテーションに、社会的一般常識・マナーの必要性について意識を高めるため「マナー講座」を開催しました。対人コミュニケーションは「挨拶から」を学内で実践、入学時から段階的に基礎ゼミ、授業、各種行事を通して、教職員全員で学生と向き合い、一人ひとりを大切にした教育を継続しています。

昨年より一年生の行事として、企画力・実行力・問題解決力育成を目的とした学生主体のトレーニングキャンプ(日帰り)を専攻別に実施しています。今年度は九月に実施することで計画に入り、少人数グループでの話し合いから、専攻全体で検討し、



入学時オリエンテーション
みんなでバーベキュー

学生主体の運営でリーダーを育て、集団行動を進行する上での意識・気づきを高めて実行しています。

キャリア支援においては、今年度は東京新卒応援ハローワークのご支援、ご指導もいただいで就職活動に臨んでいます。専門性を活かした就職先に就けるよう担任をはじめ教職員が連携して支援しています。

幼稚園(子ども園)との関わりにおいては、「食育トレーニング」プログラムを今年も二専攻の学生、教員が協力して継続実施し、新渡戸文化学園の一貫教育の一部を担っています。

臨床検査学科

本学科は、平成18年3月まで東京文化医学技術専門学校として病院をはじめとする臨床現場から高い評価を得る教育を行ってきました。平成18年4月に東京文化短期大学となり、短期大学としての教育を行っています。職業の技術や実務能力は十分に身に付けて卒業していましたが、これからは、問題解決能力、自己開発能力を加えることが必要です。

また、これまで学生のほとんどが臨床検査を行う病院や衛生検査所(検査センター)を希望していましたが、最近の学生は希望の範囲は広がり、製薬会社をはじめ企業への就職を希望することが多くなってきました。その要望にこたえるために、現在、これまでの教育を見直し、新しいカリキュラム編成について検討を行っています。その一つとして研究を行うための臨床検査総合演習を導入しました。研究を行い、口頭発表後報告書をまとめる教育です。担当教員を二名ずつ配した5組のゼミを置きました。

この教育により問題解決能力を身に付け、幅広い職業に対応できる人材を育成しています。

“同窓生の皆様、お知り合いをご紹介ください。”

新渡戸文化学園(旧称:東京文化学園)が設置する学校の卒業生の子、孫、兄弟姉妹の方は、入学金が20%減額になります。また本学を卒業した社会人優待入学者の入学金は全額免除になります。

学生募集要項 (2013年4月入学生)

※2学科とも選考方法、基準、手続き等が入学試験によって異なります。

■生活学科 (共学)

募集人員/生活学科(共学)

◆食物栄養専攻 (2年制)80名
〈栄養士免許〉

◆児童生活専攻 (2年制)50名
〈幼稚園教諭二種免許〉

専攻科児童生活専攻(1年)
〈保育士資格〉

入試区分	出願期間	試験日時・会場	合格発表
指定校・公募推薦1期	2012.10.22~10.29	2012.11.1 本校校舎	2012.11.1 本人宛発送
指定校・公募推薦2期	2012.11.7~11.14	2012.11.17 本校校舎	2012.11.17 本人宛発送
指定校・公募推薦3期	2012.11.28~12.5	2012.12.8 本校校舎	2012.12.8 本人宛発送
指定校4期	2013.1.10~1.17	2013.1.19 本校校舎	2013.1.19 本人宛発送
一般入試1期	2013.1.25~2.1	2013.2.5 本校校舎	2013.2.5 本人宛発送
一般入試2期	2013.2.20~2.27	2013.3.2 本校校舎	2013.3.2 本人宛発送
AO入試	エントリー受付期間:2012年6月4日~2013年3月11日		
社会人優待入学	出願期間:2012年10月22日~2013年3月13日 7回実施		
自己推薦入試	出願期間:2012年12月6日~2013年3月13日 5回実施		
特別入試	帰国生徒・留学生を対象とする入試です。 出願期間・試験日時・合格発表は、上記、推薦入試・一般入試と同日程になります。		

■臨床検査学科 (共学)

募集人員/臨床検査学科(共学)

◆臨床検査学科 (3年)64名
〈臨床検査技師受験資格〉

入試区分	出願期間	試験日時・会場	合格発表
指定校1期・公募A推薦	2012.10.17~10.29	2012.11.1 臨検校舎	2012.11.2 臨検校舎
指定校2期・公募B推薦1期	2012.11.19~12.3	2012.12.6 臨検校舎	2012.12.7 臨検校舎
指定校3期・公募B推薦2期	2012.12.22~2013.1.21	2013.1.24 臨検校舎	2013.1.25 臨検校舎
一般入試1期	2013.1.22~2.4	2013.2.7 臨検校舎	2013.2.7 臨検校舎
一般入試2期	2013.2.12~2.25	2013.2.28 臨検校舎	2013.2.28 臨検校舎
一般入試3期	2013.3.1~3.12	2013.3.15 臨検校舎	2013.3.15 臨検校舎

新渡戸先生生誕一五〇年

今年是新渡戸稲造先生がお生まれになって一五〇年の節目の年にあたります。また、学園の創立八十五年の年でもあります。

学園では新渡戸祭の中で展示などを計画していますが、盛岡市の財団法人新渡戸基金が中心となつて、先生の誕生日である九月一日を中心に、いくつかの行事を計画しています。

長が「教育者としての新渡戸稲造」のお話をしています。

「新渡戸稲造博士 生誕一五〇年祭」

盛岡市の盛岡グランドホテルで、財団法人新渡戸基金を中心とする実行委員会的主催で開かれました。

ニトベフレンズセミナー

四季会として毎年四回開催していますが、「秋の会」が8月30日(木)午後2時から盛岡市の第二産業会館会議室で開かれました。本学園でお招きしたところのある佐藤全弘先生のお話、「新渡戸稲造と内村鑑三」の題で札幌農学校の二期生を比較しながらのお話でした。

なお、5月26日の「春の会」では、森本晴生同窓会長・学園

グランドホテルでの授賞式で表彰を受けました。

審査員に囲まれて



②【記念講演会】(午後3時から)

講師に明石康氏(公益財団法人国際文化会館理事長)をお迎えして、「新渡戸稲造と国際問題」の演題で講演がありました。新渡戸先生は偉大な教育者であり、啓蒙的な思想家であり、国際的な理解を推進する偉大な先覚者であったとお話でした。

新渡戸先生は偉大な教育者であり、啓蒙的な思想家であり、国際的な理解を推進する偉大な先覚者であったとお話でした。

③【記念祝賀会】(午後4時から)

新渡戸先生が三味線の音楽を文化譜に書くことを勧めるなどの協力をした杵家会(きねいえ)の長唄演奏(六世家元杵

家弥七氏ほか)がありました。三味線を弾いた一人は本小学校の卒業生でした。また新渡戸稲造先生を讃える歌の演奏があるなど、いろいろの催しでにぎわいました。

新渡戸の 企画展

盛岡市先人記念館(盛岡市本宮)では、7月28日から9月30日まで、二階の企画展示コーナーで第47回企画展「新渡戸稲造のおくりもの」の展示を行いました。学園からも、史料をお貸ししました。

花巻新渡戸記念館(花巻市高松)では、8月25日から11月26日まで、特別展「新渡戸氏と偉人群像」を開催しています。

銀の鈴ギャラリー(銀の鈴社、鎌倉市雪ノ下)では9月1日から25日まで、湘南邸園文化祭2012の一環として、新渡戸稲造博士生誕一五〇年記念取材報告展「近代日本に影響を及ぼした人々」が開催されました。

講演会

盛岡市先人記念館の第1回学芸員講座「新渡戸稲造と教え子たち」が8月25日(土)

盛岡市先人記念館地下ホールで行われました。講師の鎌田聖美氏は、同館の第47回企画展「新渡戸稲造のおくりもの」の展示担当学芸員です。

調査研究の成果とともに、新渡戸稲造の教育者としての側面と、彼の影響を強く受けた教え子たち(矢内原忠雄、河井道、森本厚吉など)の業績についてお話でした。

同館の第1回シリーズ講座「新渡戸稲造と森本厚吉」女子経済専門学校と「親心」による教育」が9月1日(土)に森本晴生同窓会長・学園長を講師として開かれました。「教職員心得」にある「親心を以て」とは「民主教育」の意味であることから始まる、教育者としての新渡戸のお話でした。場所が東京から離れていましたが、岩手県在住の卒業生の参加がありました。